

令和7年度 ほっとけん！アワード 各協議会からの選考行事

資料2

団体名	行事名（参加人数）	アピールポイント
三島中学校区青少年健全育成運動協議会	夢・笑顔・愛フェス2024 (1,000人)	<ul style="list-style-type: none"> ・青健協のメンバーが中学校の総合学習の防災教育に参加し、災害時に中学生ができることや避難所運営などについて一緒に検討した。 ・中学校の各学年に企画を検討してもらい、案内・非常食配布・防災グッズ展示、防災体験コーナー、ゲームコーナーなど、幅広い分野を中学生に担当してもらった。 ・中学校の生徒や保護者だけでなく小学生や幼児、地域の住民が集い、一緒に防災や減災について学ぶことで、地域の防災意識の向上や関係づくりをすすめることができた。
天王小学校区子ども会育成連絡協議会	天子連カーニバル (113人)	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの意見を聞き、低学年から高学年まで楽しめる活動を取り入れた。防災アイテムだが普段はインテリアとしても飾れる「ペットボトルランタン」づくりを行った。 ・大人はこどもたちを見守りつつ、できるだけこどもたちで解決できるようアドバイスした。 ・こどもたちが当行事で体験したことを家庭や友達に伝えることで防災への興味が深まった。
西陵中学校区青少年指導員会	放課後カフェ（レインボーカフェ） (65～206人)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって部活外での交流の場になっており、生徒からの認知度が上がり参加者も増えている。 ・教室に入りづらい生徒が通うステップルームへの出張カフェも行っている。 ・先生からは放課後にて生徒の別の顔を見ることができるといった話を得ており、また他校区でも同様のカフェ事業が広まっている。
沢池小学校区青少年健全育成運動協議会	親子のつどい (900人)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会、福祉委員会と協力して防災訓練を行い、多世代交流をしながら防災意識向上を図った。 ・こどもの意見やニーズは、開催前や行事の中で聞き、次回以降に活かせるよう把握した。 ・防災訓練ではスタンプラリー形式を取り入れ、参加意欲を高める工夫を行った。

ほっとけん！アワード エントリーシート

団体名：三島中学校区青少年健全育成運動協議会
行事の概要 行事名：「夢・笑顔・愛フェス 2024」 参加人数 1,000人
日 時：2024年9月21日（土）9：55～11：30 継続期間（第2回）
目 的 ： <ul style="list-style-type: none"> 地域の自主防災会と連携をしながら三島中学校区の子ども、大人が災害発生時に何ができるのかを学び適切に行動できるように訓練をする。 生徒や保護者だけでなく地域に住む様々な人々が中学校に集い、共に活動することで誰もが安心して支えあえる地域作りをすすめる。

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	青健協事務局のメンバーが総合学習の防災教育に参加し、災害時に中学生にできること、防災グッズ、避難所運営などについて一緒に検討、また地域の防災士の方が講師となり防災に関する講演を行った。
青少年の希望を取り入れたか	各学年、クラス単位でフェスで何をするのかを検討してもらい、その企画を当日の運営に反映させた。
青少年の役割	1年：一般来場者案内、非常食配布、スタンプカード、商品引換所、防災グッズの展示、能登半島地震のパネル展示 2年：「水消火器訓練」「煙体験」「非常用発電機体験」「簡易担架体験」「簡易ベッド、簡易トイレ組立体験」「VR体験」「家具顛倒防止クイズ」などを担当し参加者へ説明 3年：「ストラックアウト」「逃走中」「迷路&ゲーム」「モグラたたき」「ポーリング」のゲームを手作りし、来場者の小学生、幼児を楽しませる。
青少年への指導と助言	<ul style="list-style-type: none"> 前日準備を地区防災会の方と中学生が一緒に行い、防災会の方が各種防災用具の使い方や組立方を生徒に指導した。 フェスタ当日は来場者へ生徒が説明をする際に自主防災会の方が助言をした。 総合学習に青健協事務局メンバーが参加した際、展示用防災グッズの選定、購入に立会って助言をした。

アピールポイント

- 地域の自主防災会の協力を得て中学生が主体の防災、減災に関するイベントが開催できた。
- 中学校に生徒や保護者だけではなく小学生や幼児、地域の住民が集い一緒に防災、減災について学び、考える機会を提供できた。

苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等

- 会議等を授業参観日の午後から行うことにより青健協メンバー、自主防災会と教職員の方の打合せがスムーズに行え、教職員の負担軽減にも配慮できた。
- 地域への案内について各自治会長に依頼し掲示板への掲示をしてもらった。



①写真タイトル：看板



②写真タイトル：受付 非常食配布中の様子



③写真タイトル：放送室からの案内の様子



④写真タイトル：来場者への声掛け、会場の案内の様子



⑤写真タイトル：担架の作り方の来場者への説明の様子



⑥写真タイトル：非常発電機の使用法説明の様子



⑦写真タイトル：防災クイズ出題中の様子



⑧写真タイトル：モグラたたきゲーム中の様子

主催
三島中学校
地域教育協議会
三島中学校区
青少年健全育成協議会



避難所運営体験
非常食配布



防災クイズ
地域をつなぐ取り組み
(ゲーム、アクティビティ)



地域のすべての人たちが楽しみながら「防災」を学べるように中学生が企画、運営をします。たくさんの来場をお待ちしています

夢笑顔愛 フェス2024

日付 2024年9月21日(土)

時間 午前9時55分～11時30分

場所 三島中学校
072-626-2145

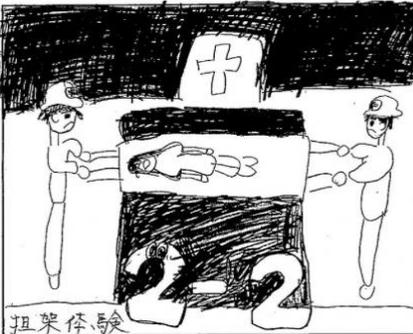
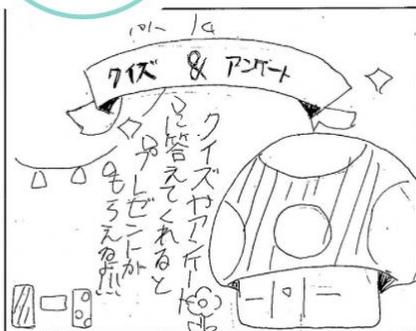
開場: 9時30分

開会式: 9時45分(校内放送にて行います)

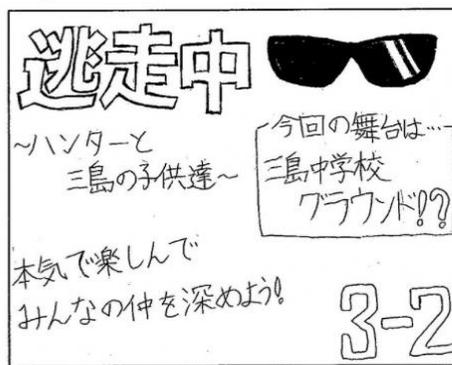
フェス開始: 9時55分

閉会式: 11時30分(校内放送にて行います)

体育館



グラウンド



※雨天時: 下足室前廊下

雨天時: 地域交流室

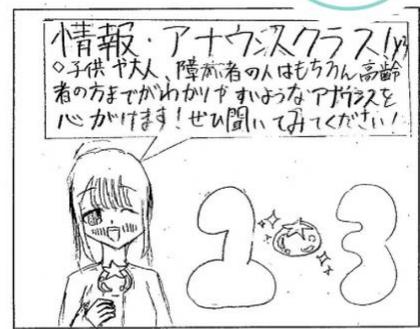
笑顔・愛フェス



各クラス 取り組み紹介

正面玄関

放送



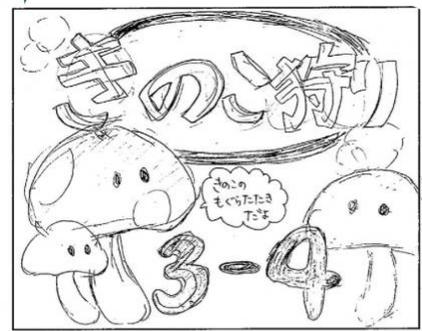
1階校舎



PTA 室(北棟1階)



電技室(西棟1階)



工作室(西棟1階)



音楽室(南棟1階)

- ・教室、体育館は土足厳禁です。必ず室内履きかスリッパに履き替えて下さい。
- ・各体験場所でスタンプをもらいましょう。スタンプがすべてたまったら、スタンプカードを体育館に持ってきて下さい。抽選会に参加することができます。

夢・笑顔・愛フェス通信

2024・11

おまたせしましたフェスふりかえり号

発行 松田真澄

夢・笑顔・愛フェス みんなのふりかえり

①自分やなかまの頑張りが見えたところ

・みんなでテントを組み立てたり、見学に来た一年生や地域の方に分かりやすい説明をするために朝早く学校に来て文章を考えた。

・声を頑張って出して、あまり売れていないものには「おすすめですよ」などと工夫をして全部なくなるようにしたことです。あと、みんなで通りすがりの人に挨拶をしたり、宣伝をして一人でも多くの人たちにお米を配りました。

・段ボールベッドを組み立てることと、段ボールベッドのメリットやしきりの役割などを調べたことです。そしてスムーズに組み立てて体験してもらいました。

・煙体験の準備は煙が外に出ないようにテープを貼ったり、入口と出口を最後まで閉めて工夫ができた。本番では煙体験する人に「行ってらっしゃい」と言ってみ送れた。

・小さい子には小さい子と同じ目線で接してあげたり、高齢者にはできるだけ大きい声で話しているところです。

・来てくださった皆さんにすごい大きな声で説明してくれたり、誘導係・宣伝係
・運搬係さん本当に一生懸命に頑張ってくれて自分もすごく楽しくて、みんなとっても笑顔で最高の時間だったなと思いました。みんなの協力のおかげでここまで来れました。

・なかまの、フェスの準備で手が空いたら「手伝うよ」と声をかけたり話し合いをしながらいろんなものを作ってすごいなと思いました。また、本番では門の前で防災グッズを配るなど、いろんな方のところに届くように工夫していたなと思いました。

・みんなにここに笑顔でお客さんや先生、みんなにここにこしていて、三島中にいる全員が楽しんでいたり、勉強してるなと思った。先輩たちの出し物でみんな笑っていてよかったと思う。



③「災害を乗り越える町 三島」を作っていくのに大切なこと

・災害が起こるといのは止めることができないけれど、起こった後にどうやって乗り越えるのかを考えることが大切だと思います。自分一人ではできないことも地域の人と協力することで、災害を乗り越えられるのではないかと思います。もし災害が起こったら今回のことを思い出して地域の人と支え合おうと思います。

・やっぱり災害を乗り越えるためには協力が一番だと思います。今回愛フェスでいろいろなところに行ったとき、いろいろな人が協力して説明したり、スタンプを押す係の人や案内をしている人もいて、段ボールで何か作っている班もあったから、一人一人が協力しないとできないからみんなで協力することが一番大事だと思います。

・災害を乗り越えるには、確かに不安や辛いことなどいろいろあると思うけど、そんなことずっと思っていると、ずっと暗いままなので、そんなことがないように私は「笑顔」が大切だと思います。学んだことはみんなの協力がとても大切だと分かりました。今日のことを見ていたら、みんなで協力している姿がどこでも見えていたので、災害が起きたとき、みんなが少しでも笑顔になれるように自分ができることはなるべくしていきたいなと考えました。

・災害時に、子どもが泣いたり大人がストレスがたまったりしてしまうことがあったら大変なので、今日みたいなボウリングや迷路など、気分転換できる安心できる場所を作ってあげたらと思います。

・今回の夢・笑顔・愛フェスのような地域の人たちと交流できる場をたくさん設けることが大切だと思った。フェスを通じて地域の人と交流することが楽しいと学んだ。地域の人とたくさん交流して、いざという時に助け合える街にしていきたいと思った。

・担架のつくり方や発電のしかた等、災害時に必要とされることを学ぶことができ、いざ災害になったとき、今日学んだことを思い出してやってみたいです。このようなフェスは将来のためになるので大事にしたいです。

・もし災害が来たとき、周りの大人に助けてもらおうとか、助け合う方がいいと思う。自分たちの身の周りには子供連れや老人、妊婦さんとかがいる。そうしたら私たちはその人たちと一緒に安全安心の道に進むことになる。そうしたら助け合っていくのが人間だから、一人一人の大切な命を守り精いっぱい生きようと思います。

三島小学校区防災訓練があります

フェスでお世話になった三島地区自主防災会主催の防災訓練が、三島小学校で開催されます。フェスで学んだことを生かしたり、さらに楽しく、& 実用的に防災を学ぶチャンスです。ぜひ参加してみてください。

日時：11月24日（日） 9：15～受付

9：30～11：50まで

場所：三島小学校グラウンド、体育館、会議室（雨天時：体育館）

※上履きを持参してください



ほっとけん！アワード エントリーシート

団体名：天王小学校区こども会育成連絡協議会	
行事名：天子連カーニバル	参加人数113人
日 時：2024年5月25日（土）9：00～11：30	継続期間（第42回）
<p>目的：地震や水害などの災害が起きたときに大切な地域の人との関係。天子連カーニバルが子どもたちが遊びやもの作りの活動体験を通じて防災について考えるきっかけになり、一緒に活動した保護者、地域の方たち、近隣大学の学生ボランティアといった地域で生活する人たちと顔見知りの関係（大人が気がついて声をかけあう関係）になることを目的とした。</p>	

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	カーニバルの内容を決める時に、低学年から高学年の子どもみんなが楽しめる活動はどんなものが良いかを聞き取りを行った。 体を動かす遊びと工作を準備して、見学だけの参加も良いとの意見が出た。 近年身近に感じられてきている災害への備えの防災要素も入れたいと伝えたと、わかりやすく怖くないものが良いのでは？という意見が出た。 おみやげもあるとうれしいと意見が出た。
青少年の希望を取り入れたか	防災について、わかりやすく身近な物で幼児・低学年から高学年まで取り組めるよう工作体験を検討することにした。 中・高学年には記憶に残る体験にしようと意見が出た。
青少年の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・地区文化祭に向けた作品（ペットボトルランタン）制作に取り組む。 ・ソフトボール、キックベース体験により選手をはじめ監督、保護者などスポーツを通じて体感・体験する。
青少年への指導と助言	<ul style="list-style-type: none"> ・時間割やグループ分けは大人が設定し、各活動での説明、誘導、相談の対応も各活動を担当する大人が対応した。 ・子どもたちの中で困ったことがあれば、見守り、できるだけ子どもたちで解決できるようにアドバイスを適時伝えた。

<p>アピールポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール、キックベース体験を通じ選手や監督、保護者や地域の方々との交流やスポーツ体験をしてもらった。 ・ペットボトルランタンは普段はきれいなインテリアとして部屋に飾れる。もしもの時は、恐怖感を和らげられる防災アイテムになり、身近な物で工夫できることを伝えられた。 ・こども会活動は強制ではなく、取り組みたいものに自分のペースで取り組められればよいとしている。 ・子どもたちがカーニバルで体験したことを家庭や他の友達に伝えることで、防災への興味が深まった。
<p>苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児から高学年の子どもたちが一緒に楽しめる活動を考えることは難しいが、こどもの率直な意見を聞いたり、毎年の反省をフィードバックしながら考えている。 ・大阪北部地震、激しい台風、雷を体験したことで災害についての意識も強い。怖がらずに前向きに防災意識を持ってもらえるよう、身近なペットボトルを使ったランタン制作では、低学年はシールや絵を描くことをメインにし、中・高学年は理科室で洗剤を用いた光の拡散実験を体験してもらった。子どもたちからも歓声上がるほど盛り上がった。



①写真タイトル：ソフトボール体験



②写真タイトル：キックベース体験



③写真タイトル：ペットボトルランタンづくり



④写真タイトル：ペットボトルランタンづくり



⑤写真タイトル：ペットボトルランタンづくり

ほっとけん！アワード エントリーシート

団体名：西陵中学校区青少年指導員会
行事の概要
行事名：放課後カフェ（レインボーカフェ） 参加人数 65～206人
日 時：令和6年…4月26日(金)、5月21日(火)、6月21日(金)、9月27日(金)、 10月24日(木)、11月22日(金)、12月16日(月) 令和7年…1月22日(水)、2月19日(水)、3月17日(月) ※1回あたり1～2時間で実施
目 的：放課後の帰宅前や部活が始まるまでのひと時、生徒同士や先生達、地域の大人達と交流するカフェを開く。縦や横のつながりではない、斜めの関係性を築き、地域で生徒達を見守っていることを知ってもらう機会を増やし、安心して学校生活を送れるようにサポートする。

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	特に相談はしていない。
青少年の希望を取り入れたか	教室に入りにくい生徒が通うステップルームへ、出張カフェとしてこちらから飲み物を届けた。
青少年の役割	椅子を並べたり、飲み物を配ったりの手伝いをしてもらうこともあった。片付けも手伝ってもらった。 放課後、いつもと違う友達や先生、地域の大人とゲームや会話をしながら人間関係を広げていく。
青少年への指導と助言	一緒にゲームや会話をする中で、アドバイスをしたり、周囲の大人たちはいつでも見守っていること、相談しても大丈夫だということを伝えている。

<p>アピールポイント</p> <p>継続してほぼ毎月実施することで、生徒達の認知度が上がってきており、レインボーカフェを楽しみにしてくれる声も多く聞こえてくるようになった。先生方にも、普段の姿とは違った生徒たちの顔が見られると好評。できる限り続けて行きたい事業。 また、他の中学校でも、カフェを始めたところも出てきたようである。</p> <hr/> <p>苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等</p> <p>青少年指導員会のメンバーだけでは、平日昼間の時間帯に参加できる人数が揃わない事が悩みで、有志の方やPTAの方にも来てもらえるようなシステムを作っていきたい。また、費用面でも十分ではないので、地域の他団体にも協力をお願いしていきたいと思う。</p>



①写真タイトル：美術部生徒制作のポスター①



②写真タイトル：美術部生徒制作のポスター②



③写真タイトル：美術部生徒作成のポスター



④写真タイトル：カードゲームやボードゲームで盛り上がる



⑤写真タイトル：好きな事をしてくつろぐ



⑥写真タイトル：順番に並んで飲み物を

ほっとけん！アワード エントリーシート

団体名：沢池小学校区青少年健全育成運動協議会	
行事の概要	
行事名：「親子のつどい」	参加人数 延べ900人
日 時：令和6年11月17日（日）10：00～14：00	継続期間（第38回）
目 的： 第38回となる沢池地区の地域交流行事を通じて、老若男女問わず地域住民が集い、校区内の児童や保護者、PTA、スポーツ団体、地域協議会など多様な団体が協力し、日頃は接点の少ない子どもたちや住民同士のつながりを深めることを目的とした。また、自主防災会、福祉委員会とのコラボで防災訓練を行い地域の防災意識の向上も図った。	

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	企画は主に大人主体で進めたが、青少年が参加しやすいよう、開催前に簡単な意見聴取や声かけを行うよう努めた。青少年からの具体的な相談はあまり多くなかったが、当日も彼らの意見や反応を観察し、今後の参考にできるよう心がけた。
青少年の希望を取り入れたか	青少年の希望を積極的に取り入れることは現状では限定的だったが、行事に参加してもらいながら、彼らの関心やニーズを把握し、次回以降に活かせるよう少しずつ工夫した。今後、より意見を聞ける機会を設けることも検討した。
青少年の役割	青少年には、ゲームコーナーなどで限られた範囲での役割をお願いした。大人のサポートを受けながらの活動が中心だったが、実際に参加することで地域行事に関わる経験を積んでもらった。
青少年への指導と助言	青少年に対しては、活動の進め方や安全面について必要最低限の指導や助言を行った。細かいところまでは難しい場合もあったが、基本的なポイントは伝え、安心して活動できるよう配慮した。

アピールポイント

本行事は、沢池地区地域協議会やコミュニティセンター管理運営委員会、校区自主防災会、福祉委員会など地域の多様な団体が連携し、延べ900人ももの参加者を集めて実施した。コロナ禍を経て感染対策を徹底しつつも、飲食やゲームコーナーなどの楽しい催しを再開し、多世代が交流しながら地域の絆と防災意識を高めることに成功した。

苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等

地域の多様な団体に関わるため、スケジュール調整や役割分担に工夫が必要だった。また感染対策を講じながらも、参加者が安心して楽しめる環境づくりに苦労した。防災訓練ではスタンプラリー形式を取り入れ、参加意欲を高める工夫を行うことで、より多くの住民が防災意識を持つきっかけとなった。



①写真タイトル：実施の様子（防災訓練）



②写真タイトル：実施の様子（防災訓練）



③写真タイトル：実施の様子（ゲームコーナー）



④写真タイトル：実施の様子（ゲームコーナー）



⑤写真タイトル：実施の様子



⑥写真タイトル：実施の様子

第38回 沢池っ子 みんなであいさつ こぼれる笑顔

親子のつどい

～つなげていこう地域の輪～

日時

11月17日（日）雨天決行

10：00～14：00

★開会式

★防災コーナー、ゲームコーナー・模擬店は、開会式終了後～

※雨天の場合、内容に変更がある場合があります。

場所

沢池小学校

※自転車・バイクは、春日丘公園の臨時駐輪場に停めてください。

正門付近は、駐輪禁止です。

同時開催

沢池公民館 文化展（体育館）

9：30～15：00



当日は、上履きを忘れず
に持ってきてくださいね!



防災訓練をします!

トイレワーク・家具転倒防止ワーク・煙体験訓練・炊き出し訓練
ロープワーク・災害救助犬訓練披露があります。

防災備蓄品展示も行っています。

防災訓練のいずれかを3つ以上のスタンプで、
参加賞をプレゼントします!

参加賞には、数に限りがありますのでお早めにご参加ください



ご協力をお願い

駐車場はありませんので、車でのご来校は近隣のご迷惑となりますので、お控えください。
駐車禁止場所に長時間停めている場合、通報することがあります。
飲食を扱っているため、ペットを連れてのご来校はお控えください。

主催：沢池地区地域協議会・沢池小学校区青少年健全育成運動協議会
沢池コミュニティセンター管理運営委員会
共催：沢池校区自主防災会・沢池地区福祉委員会



当日イベント案内です!

模擬店・ゲームコーナー



有料

フランクフルト	沢池小学校区こども会育成会
おにぎり・スーパーボールすくい・飲料	沢池小PTA
からあげ	沢池小教職員
駄菓子・パン	認定こども園 沢池幼PTA
魚つりゲーム	レッツ青少年会
飲料	青健協



無料

キックで遊ぼう	沢池ドリームス
ソフトでホームランバッター	沢池グリーンマックス
キックターゲット	沢池フットボールクラブ
ストラックアウト	沢池レッドナイト
シュートでぴょん	沢池ミニバスケットボールクラブ
プラバン	学童保育 育成会
ラグビーボールで遊ぼう	茨木ラグビースクール



防災訓練コーナー

トイレワーク	沢池校区自主防災会
家具転倒防止ワーク	沢池校区自主防災会
煙体験訓練	沢池校区自主防災会
炊き出し訓練	沢池地区福祉委員会
ロープワーク	沢池校区自主防災会
防災備蓄品展示	沢池校区自主防災会

